学校名	下久堅小学校
ホームページＵＲＬ	児童・生徒数　　１８４ 名

(1) テーマ

自分達の米作り

テーマの分類（　②、③）
下記の欄外記載事項を参照してください。

(2) 活動の単位に○をつけてください

学級・同一学年・３～４年
５～６年・学校・
その他（　　）
該当学年　　５ 年
（回答可能な場合）

(3) 活動のねらい
自分達の経験や取材、他教科で学んだことを通して必要な情報を集め検討しあいながらそれを自分達の米作りに生かしていく。

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態等）
共通課題「米をたくさんとるにはどうしらよいか」
個々の考え→発表
・植え方
・手入れ
・苗の種類
（他教科との関連もふまえ検討）
→ 作業→
・インターネット、取材等で昔の人の米作りについても考える
→ 田植え　⇒
・水の管理
・草取り
・鳥よけ　→ かかし作り
（日々の活動）
⇒ 収穫
時数（５０）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）
・田植え、稲刈り、脱穀等の活動は地域の方に協力していただいた（育成会）
・課題解決への話し合い、日々の作業、他教科との関連部分は担任

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）
・作業的な活動が多く、期間も長くなってしまうので、いつでも課題にたちかえり自分達の米作りという意識が継続できるようにした。
・稲作をしているお家が多い地域でもあるので家族を中心に取材活動もとりいれた。

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）
・期間が長い活動であるので、それぞれの活動の場で評価をした。
・収穫という目的があり、田も限られているので一人一人が自分の解決方法で作業をすすめていくことが困難であったため、解決のための”考え方”“取り組み”を評価の対象とした。

(8) 成果と課題
・５年生だから米作りという行事的な意識ばかりでなく「自分達の米作り」という意識を継続させながら活動できた。それが毎日の作業の中にも表れていた。
・(7) でも述べたように、一人一人が自分の解決方法でそれを試みていくという活動にはできず学級の共通課題について一人一人が考えたことを検討しあってその中の方法で、という活動になってしまった。

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学校の特色に応じた課題